



# くらしと憲法

## 京都憲法会議 2013年春の取り組み

「政府として憲法96条改正に全力を挙げ  
て取り組みたい」(3月11日、菅義偉官房長  
官)、「日本を孤立と軽蔑の対象に貶め、絶  
対平和という非現実的な共同幻想を押し付  
けた元凶である占領憲法を大幅に改正し、  
国家、民族を真の自立に導き、国家を蘇生  
させる」(3月30日発表、日本維新の会「綱  
領」)、「占領軍が作った憲法だったことは間

違いない」(4月5日、安倍晋三首相)など  
など。

安倍政権の誕生以来、政府を含む政治の  
側から、露骨な日本国憲法「敵視」論が噴出  
しています。7月の参議院選挙は、改憲問題  
が一大争点と化しそうです。早急に改憲論の  
狙いと日本国憲法の価値を訴えていかなけ  
ればなりません。

## 憲法リレートーク

このような情勢のなか、京都憲法会議では  
自由法曹団とともに、2月5日から毎週火曜日  
18時から30分間、四条烏丸南西角にて「憲  
法リレートーク」を行っています。この取り組み  
には、「京都共同センター」からも参加してい  
ただき、毎回約20名が訴えながらチラシを配  
布しています。これまで、憲法会議や自由法  
曹団のメンバーはもちろんのこと、京都総評、  
新婦人、母親連絡会、京教組、民商、自治

労連、市職労、共産党といった団体のメン  
バーもマイクを持ってきています。今度の参  
議院選挙にて、一気に改憲へと進みかねな  
いなか、憲法をめぐる状況について、少しで  
も多くの人に知ってもらおう、との試みです。

毎週火曜日18時から四条烏丸にて、「京  
都憲法会議」の幟を掲げて訴えております。  
お時間のある折、ご参加いただければ幸い  
です。

## 尖閣問題で「憲法記念春のつどい」

5月25日(土) 14:00～ 京都テルサにて

憲法をめぐる対話の中で、やはり問題にな  
るのが、尖閣をめぐる日中関係や北朝鮮の  
最近の動きです。日本周辺が決して「穏や  
か」とはいえないだけに、「他国から攻められ  
たらどうするのか?」、「『弱腰外交』ではダメ  
で、軍事力もときに必要では?」、「アメリカと  
の同盟関係は一層強化すべきでは?」といっ  
た声が聞こえてきます。日本国憲法を生かした  
積極的な外交活動や民間交流により、問  
題を解決する具体的な道筋を示していくこと  
が求められています。

そこで、今年5月集会は、「尖閣問題の  
平和的解決に向けて」と題して、龍谷大学法  
科大学院教授で国際法学者の田中則夫さ

んにご講演いた  
だき、憲法9条の積極  
的な可能性につい  
て考えます。

また、憲法会議幹  
事の中島茂樹さん  
(立命館大学教授)  
に「『日米同盟』と改  
憲論の動向」という  
タイトルで、憲法をめぐる情勢報告をして  
いただきます。充実した企画を準備してあり  
ますので、5月25日(土)は、「憲法記念春のつ  
どい」にご参加ください。詳しくは、同封チラシ  
をご覧ください。



No. 85

くらしと憲法  
2013年  
5月2日発行



## リーフ『2012の総選挙、あなたの一票 生きました?』発行

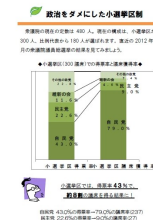
昨年末の衆議院選挙制度にて、小選挙区制の問題点は明確になりました。にもかかわらず、国会はこの選挙制度を前提に、むしろ比例区中心に議員定数を削減するという「改悪」を目論んでいます。改めて、先の選挙結果を参照し、選挙制度の抜本的改革を訴えなければなりません。

京都憲法会議では、リーフレット『2012の総選挙、あなたの一票 生きました?』(全8頁)を作成しました。最新かつ京都を素材としたデータを使っていますので、この制度の問題点をリアルに感じていただけたと思います。1部10円で販売いたしますので、どうか大いにご活用ください。

また、現在、5月25日の集会に間に合わせることを目標に、自民党の「日本国憲法改正案」等の改憲案を分かりやすく批判した冊子の作成も進めています。どうぞ、ご期待ください。



表紙



得票率と議席獲得率

衆議院下の小選挙区制での議席獲得率と得票率の乖離

衆議院下の小選挙区制での議席獲得率と得票率の乖離

| 政党     | 得票率   | 議席獲得率 |
|--------|-------|-------|
| 自民党    | 33.0% | 33.0% |
| 民主党    | 27.0% | 27.0% |
| 公明党    | 15.0% | 15.0% |
| 日本維新の会 | 12.0% | 12.0% |
| 国民民主党  | 10.0% | 10.0% |
| 自由民主党  | 8.0%  | 8.0%  |
| 日本共産党  | 5.0%  | 5.0%  |
| その他    | 1.0%  | 1.0%  |

※得票率と議席獲得率の乖離は、選挙区制の特性によるものである。

京都の当選者



### 事務局 レポート

## 沖縄米軍基地視察旅行に参加して

私は、憲法について学び、活動したいという思いから、昨秋から憲法会議の活動に参加しています。改憲への動きが活発化している現在、オスプレイ配備と基地移転問題に揺れる沖縄の現状を知り、平和憲法とは何かをあらためて考えるため、憲法会議事務局メンバーを中心とした有志で沖縄へ行って来ました。初めて見る沖縄の美しい海と空に感動するとともに、米軍基地問題の切実さを知った旅でした。

現地では、アメリカンスクールで講師をされている方のガイドで、嘉数展望台や糸数アブチラガマ、平和祈念資料館等などの沖縄戦跡をめぐる旅でした。なかでも、嘉数展望台からは、オスプレイが駐機している普天間基地と住宅地を一望することができました。危険な欠陥機オスプレイが住宅地のすぐ側で離着陸を繰り返し、住民の命を脅かしている様を見て、沖縄戦での惨劇が、現在まで尾を引く基地問題の発端であることを再認識しました。

また、最終日には、近くオスプレイが配備される予定になっている嘉手納基地の側の丘(通称「安保の見える丘」)に登り、基地の様子を観察しました。間近に迫る戦闘機とその離発着の轟音に、私がこれまで思い描いていた、平和憲法を掲げ、戦争とは無縁な国という日本のイメージは虚像であったと感じました。

そして、嘉手納町議の方にお話を伺い、米軍が、沖縄をまるで我が領土であるかのように居座っていること、そうでありながら、沖縄の自然や住民に対し、米国本土では許されないような粗雑な扱い方をしていることを知り、憤りを感じました。日本の国民皆がこの事実を知れば、「日本は米軍に護られているのだから、仕方がない」というような無責任な意見が幅をきかせることもないのではないのでしょうか。

沖縄には、美しい自然があり、東南アジア諸国と本土との輸送の中継地点にもなり得るといった地理的な要素があることから、基地を無くしても十分に発展する道はあるはずですが、沖縄の可能性を台無しにしている米軍基地をこのままにしておくことはできません。

私にとって印象的だったのは、ツアーバスの運転手の方が、「基地は原発と同じですよ」と仰っていたことです。基地が住民や環境を脅かすものであること、地域住民の間に亀裂を生じさせていること、これらが全体のための必要な犠牲であるかのように扱われているということが、この言葉に端的に表れていると思います。今、日本各地で脱原発の声が高まっているのと同様に、脱米軍基地の声も広がることを願い、報告させて頂きました。

(事務局員)